

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2021（前期）教職課程〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職入門	市毛祐子	前期は、回の途中からZoomによる授業となりましたが、自分の考えを積極的に述べたり、ブレイクアウトルームで活発に意見を交わしたりすることができていたことは素晴らしかったです。こうした様々な場面での意欲的な取組が自身の成長を実感できたという評価につながったのだと感じます。今後は、皆さんの理解がより深まるよう、内容の精選や資料の提示の仕方について改善し、より分かりやすい授業を展開していきたいと思います。
家庭科教育法（2）	市毛祐子	授業の進むスピードや説明の分かりやすさは高評価を得ていますが、皆さんの理解がより深まるよう、今後は、双方向の授業や資料の提示の仕方等について、工夫・改善をしていきます。礼儀正しく何事にも真摯に取り組む皆さん、自分の夢の実現に向けて、自信をもって次のステップに進んでください。
教育実習 A	市毛祐子	実際に現場で生かすことができるように、できるだけ具体的な事例を示し、解決策を考える等の形をとって授業を展開してきました。コロナ禍で様々な制約があった教育実習でしたが、感染症対策を講じながらも工夫を凝らして、意欲的に取り組み、やり抜いたことは素晴らしいと思います。実習後の皆さんの表情やレポートの内容から、教職に対するより一層の熱意や使命感、そして、何より、自身の成長の様子が伝わりとても頼もしく感じています。今後も皆さんの学びが深まるよう、内容を精選し、資料の提示の仕方等についても工夫・改善を進めていきます。
教育実習 A	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となったが、教育実習で不在になる学生が多く出る時期であったため、大きな影響はなかったように思われる。6月後半に対面授業が再開して以降も、教員採用試験の受験のため地元滞留をせざるを得ない学生がzoomで出席するなどのこともあったため（特に今年は、感染を確認するために2週間程度の待機が要請させるケースもあったことによる）、この授業においては次年度以降も遠隔での出席を可能にできるようにしたいと考える。
児童・生徒栄養教育論（1）	白尾美佳	対面授業、オンデマンド授業等が混在していて、大変だったかと思います。しかし、給食前の食に関する指導は全員ができて良かったと思います。今後は45分の授業を目指して頑張りましょう。
教育制度	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となった。最後の数回ほど対面授業に戻ったのだが、その際通常よりも教育六法の使用法が身に付いていないように感じた。zoomでもチャットを活用し、一方通行にならないように心がけてはいるが、やはり理解度や演習の進捗状況を目視できないため、教育効果が少し低くなるように感じる。今後またオンライン授業をせざるを得ない時には、この点に留意して工夫をしたいと考える。
教育実習 A	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となったが、教育実習で不在になる学生が多く出る時期であったため、大きな影響はなかったように思われる。6月後半に対面授業が再開して以降も、教員採用試験の受験のため地元滞留をせざるを得ない学生がzoomで出席するなどのこともあったため（特に今年は、感染を確認するために2週間程度の待機が要請させるケースもあったことによる）、この授業においては次年度以降も遠隔での出席を可能にできるようにしたいと考える。
教育原理	中村一哉	教育に関する過去の歴史や考え方を学びながら、一番、大切に思っていたことは、それが現在の教育とどのように結びつき、これからの教育の在り方を考えていくヒントになるのかということです。そして、そのことについて自分自身の意見をしっかりとつとめてきました。皆さんには、教育思想家や心理学者等について分担して調べて資料をまとめてもらいました。今はまだ活用する場面はないかもしれませんが、やがて、教育について考える際の貴重な資料になるものだと思います。それもまた、個の学びを互いに共有して発展させる「協働的な学び」の姿なのではないでしょうか。原理は実践と結びついて、はじめて意味をもちます。今回の内容は、これからの教職課程の学びの中で直接的、間接的に繰り返し出てくることでしょう。そんな皆さんの学びの基礎となる授業を目指しました。
教職研究 a	中村一哉	2年生と4年生という経験が異なる2人の受講者による少人数の授業でしたが、その差がかえって豊かな学びの交流を生んだように感じています。内容的には、教育時事というおそらく馴染みが薄いものだったと思いますが、であるにもかかわらず、2人がとても前向きな姿勢で授業に参加し、課題に取り組んでくれたので、楽しく授業を行うことができました。この授業は、内容を理解することよりも、教育を考えていく際の視点や方法を学ぶところに意義があります。従って、この授業の経験を、教職を目指すこれからの学びに、どのように生かしていくか、お2人の発展に大きな期待を寄せています。ぜひ、これからも今の姿勢を貫いて頑張ってもらいたいと思っています。

〔2021（前期）教職課程〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育制度	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となった。最後の数回ほど対面授業に戻ったのだが、その際通常よりも教育六法の使用法が身に付いていないように感じた。zoomでもチャットを活用し、一方通行にならないように心がけてはいるが、やはり理解度や演習の進捗状況を目視できないため、教育効果が少し低くなるように感じる。今後またオンライン授業をせざるを得ない時には、この点に留意して工夫をしたいと考える。
発達・学習理論	柏崎秀子	どの項目もほぼ満点の非常に高い評価となっていて、担当者として驚きつつも達成感を感じており、実に感慨深いです。実のところ、確かにこの授業では教師自身も充実感を感じながら実施することができて、改めて、授業の相互関係に感じ入りました。 学生自身も自分の理解度が高いと感じていたようで、学修に多くの時間を使い熱心に取り組んでくれて、一層、嬉しい限りです。 理論を学ぶ授業のため、堅苦しくならないようわかりやすさや話し合い活動などで工夫してみました。学生自身もその点を高く評価してくれて、学生同士で話し合ったり考えたりして、自分の思考を客観的に見ることができたと捉えたり、発達や学習の理解が深まって教職へのさらなる意欲を感じてくれたことが、この評価につながったのだとわかり、やり甲斐を感じました。今後も充実感の高い授業となるよう努めていこうと思います。
教職入門	市毛祐子	自分の考えをしっかりと持ち、丁寧に資料をまとめたり、プレゼンテーションをしたりすることができていました。双方向の授業を常に心がけていますが、今後は、皆さんの理解がより深まるよう、内容の精選や資料の提示の仕方について工夫・改善をしていきたいと思っています。
発達・学習理論	柏崎秀子	どの項目もバランスよく高い結果となり、特に、わかりやすさの工夫が高く、オンデマンド型の画面で単調にならないよう工夫した甲斐がありました。また、人の発達や学習について深く学ぶことができた、多くの学生が書いてくれていて、授業の目的が確実に達成できたと非常に嬉しいです。予習・復習の課題も学習を見返す機会と捉えて前向きに取り組んでくれ、意欲的に学んでくれていたと改めて感じ入りました。 オンデマンド型の期間もありましたが、できれば、すべての授業回で対面で直に交流できたら、いっそう充実できただろうと思いました。今後も意欲を高められる充実した授業となるように、努力していこうと思います。
教育原理	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となった。教育原理は基本的に講義形式であるため気づきにくい。演習を活用する他の授業では、オンライン授業によって教育効果が少し低くなるように感じる。この授業においても、今後またオンライン授業をせざるを得ない時には、この点に留意して工夫をしたいと考える。
発達・学習理論	宮脇郁	今期のこの授業は半分が対面、半分がオンデマンド（動画配信）とイレギュラーな形式での実施となりました。特にオンデマンドの授業は、受講生の皆さんにとってわかりにくかったり、モチベーションを保ちにくかったりするのではないかと心配していました。しかしアンケートの結果によると、むしろオンデマンドの方を好む人が多く、（少々複雑な思いを感じながらも）安心しました。 できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、おおむねわかりやすかったようでよかったです（設問7、9）。これからもできるだけ具体例をたくさん挙げて、理解度を高めるようにしたいと思います。 授業を「聞いておしまい」にせず、教育や自分の学びに生かしてもらうために、毎授業後に「今回の授業で学んだことを教育に生かすにはどうすればよいか」ということを考えて提出してもらいました。受講生の皆さんにとっては大変な作業だったと思いますが、多くの人の回答は目に見えて向上していきました。自由記述の回答によると、演習は好評だったようです。特に、一人一人にフィードバックのコメントを返したのが良かったとのことでした。がんばってコメントを書いた甲斐がありました。今後も続けていくつもりです。 半期の間ありがとうございました。
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	中沢辰夫	最初の3回と終わりの3回が対面でできたのだが、間の8回はオンデマンドで各回のレポート提出に「による出席の確認を行った。ほとんどの学生さんはほとんど欠席することなく熱心に各回の課題も意欲的に提出できた。アンケート項目について「1. 欠席回数」の少なさからもわかる。「4. 理解度」「7. わかりやすかった」「15. 総合的に満足」などの数値は今後の改善のための資料になる。最終回のまとめのテストについても、それまでの学習をよく勉強してから臨んでいた。
教職研究 d	柏崎秀子	説明やパワポや配布資料がわかりやすく、声も聞き取りやすかった、とのことで、わかりやすい授業となったとわかり、工夫した甲斐がありました。シラバスとの違いがあったのは、受講を想定していた学年と異なり、内容が未習の学生ばかりとなったため、この状況ではそれがベターだったと思います。全体的な成長実感などがどれも高く、受講生にとって充実した授業となったようで、担当者として嬉しいです。 今後も充実した授業となるように、努力していきたいです。

【2021（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達・学習理論	柏崎秀子	どの項目もバランスよく高い結果となり、特に、わかりやすさの工夫がみられ、ジェスチャーを交えた講義に対しても肯定的で、オンデマンド型の画面で単調にならないよう工夫した甲斐がありました。オンデマンド型だったのでどうだったろうかと思いましたが、何度も見返すことができる点をメリットと捉えてくれていましたし、授業後のまとめ問題も学習内容を復習できると捉えて、熱心に取り組んでくれて、担当者として嬉しい限りです。初めてのmanabaオンデマンドで当初は戸惑いながら取り組みましたが、今後も充実した授業となるように、努力を続けていこうと思います。
教育原理	清田夏代	アンケートの結果については概ね納得している。今学期は、学期途中8回程度、zoomによるオンライン授業となった。教育原理は基本的に講義形式であるため気づきにくいのが、演習を活用する他の授業では、オンライン授業によって教育効果が少し低くなるように感じる。この授業においても、今後またオンライン授業をせざるを得ない時には、この点に留意して工夫をしたいと考える。
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	中沢辰夫	最初の3回と終わりの3回が対面でできたのだが、間の8回はオンデマンドで各回のレポート提出に「よる出席の確認を行った。ほとんどの学生さんはほとんど欠席することなく熱心に各回の課題も意欲的に提出できた。アンケート項目について「1. 欠席回数少なさ」からもわかる。「4. 理解度」「7. わかりやすかった」「15. 総合的に満足」などの数値は今後の改善のための資料になる。最終回のまとめのテストについても、それまでの学習をよく勉強してから臨んでいた。
発達・学習理論	宮脇郁	今期のこの授業は半分が対面、半分がオンデマンド（動画配信）とイレギュラーな形式での実施となりました。特にオンデマンドの授業は、受講生の皆さんにとってわかりにくかったり、モチベーションを保ちにくかったりするのではないかと心配していました。しかしアンケートの結果によると、むしろオンデマンドの方が好む人が多く、（少々複雑な思いを感じながらも）安心しました。 できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、おおむねわかりやすかったようでよかったです（設問7、9）。これからもできるだけ具体例をたくさん挙げて、理解度を高めるようにしたいと思います。 授業を「聞いておしまい」にせず、教育や自分の学びに生かしてもらうために、毎授業後に「今回の授業で学んだことを教育に生かすにはどうすればよいか」ということを考えて提出してもらいました。受講生の皆さんにとっては大変な作業だったと思いますが、多くの人の回答は目に見えて向上していきました。自由記述の回答によると、演習は好評だったようです。特に、一人一人にフィードバックのコメントを返したのが良かったとのことでした。がんばってコメントを書いた甲斐がありました。今後も続けていくつもりです。 半期の間ありがとうございました。
美術科教育法（2）	中村一哉	美術科教育法（1）では、美術の授業の教材について、皆さんが持ち寄った資料を互いに紹介しながら、題材教科における教材の意義や設定の仕方について学びました。続く美術科教育法（2）では、そうした題材を配列して、学年に応じた指導計画を作成するとともに、授業を構想していくことを中心に学修しました。人数の関係もあり、2人1組でチームをつくり、分担して模擬授業を行いました。毎回行う相互評価の回を重ねていくことで、皆さんの授業に対する見方が深まり、磨かれていったように思います。続く美術科教育法（4）では、さらに授業の在り方や指導法を深めて実践できる力を伸ばしたいと思います。この授業の振り返りを生かして、さらに発展させてほしいと思います。
教育実習A	市毛祐子	実際に現場で生かすことができるように、できるだけ具体的な事例を示し、解決策を考える等の形をとって授業を展開してきました。コロナ禍で様々な制約があった教育実習でしたが、感染症対策を講じながらも工夫を凝らして、意欲的に取り組み、やり抜いたことは素晴らしいと思います。実習後の皆さんの表情やレポートの内容から、教職に対するより一層の熱意や使命感、そして、何より、自身の成長の様子が伝わりとても頼もしく感じています。今後も皆さんの学びが深まるよう、内容を精選し、資料の提示の仕方等についても工夫・改善を進めていきます。
発達・学習理論	柏崎秀子	初めてのmanabaオンデマンドで当初は戸惑いながら取り組みましたが、説明が面白く興味深くてわかりやすかった、との記述が多くあって、オンデマンド型でも単調にならないよう工夫した甲斐があったと、嬉しいですね。また、自由記述も多く書いてくれていて、「人の発達や学習について理解が深まった」「生徒の様々な行動の理由がわかった」「自分自身と関連付けて理解できた」など、この授業の目的が確実に達成できたとわかり、非常に喜ばしいです。今後は遠隔教育機器の使い方をもっと学んで、いっそう充実してわかりやすい授業になるよう工夫していこうと思います。

[2021（前期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達・学習理論	宮脇郁	<p>今期のこの授業は半分が対面、半分がオンデマンド（動画配信）とレギュラーな形式での実施となりました。特にオンデマンドの授業は、受講生の皆さんにとってわかりにくかったり、モチベーションを保ちにくかったりするのではないかと心配していました。しかしアンケートの結果によると、むしろオンデマンドの方を好む人が多く、（少々複雑な思いを感じながらも）安心しました。</p> <p>できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、おおむねわかりやすかったようでよかったです（設問7、9）。これからもできるだけ具体例をたくさん挙げて、理解度を高めるようにしたいと思います。</p> <p>授業を「聞いておしまい」にせず、教育や自分の学びに生かしてもらうために、毎授業後に「今回の授業で学んだことを教育に生かすにはどうすればよいか」ということを考えて提出してもらいました。受講生の皆さんにとっては大変な作業だったと思いますが、多くの人の回答は目に見えて向上していきました。自由記述の回答によると、演習は好評だったようです。特に、一人一人にフィードバックのコメントを返したのが良かったとのことでした。がんばってコメントを書いた甲斐がありました。今後も続けていくつもりです。</p> <p>半期の間ありがとうございました。</p>
家庭科教育法（2）	市毛祐子	<p>授業の進むスピードや説明の分かりやすさは高評価を得ていますが、皆さんの理解がより深まるよう、今後は、双方向の授業や資料の提示の仕方等について、工夫・改善をしていきます。礼儀正しく何事にも真摯に取り組む皆さん、自分の夢の実現に向けて、自信をもって次のステップに進んでください。</p>